

平成30年度 事業計画・予算 概要

【公益目的事業】

I 一般会計による事業

- 1 絶滅鳥・エピオルニス総合的研究(代表米澤隆弘)(本年度より計上なし)
- 2 アホウドリの人為的コロニー計画に関する研究(佐藤文男) 150千円
- 3 皇居調査-吹上御苑を中心とした皇居内鳥類相を明らかにする
(浅井芝樹、小林さやか、岩見恭子、齋藤武馬、黒田清子) 220千円
- 4 普及・広報事業 - 講習会・PR誌・顕彰事業等(平岡 考) 6,291千円
- 5 山階武彦助成事業 8名 2,000千円

II 文部科学省科学研究費補助金(特定奨励費)による研究事業

「日本最大の鳥学関連資料群の維持管理・拡充・公開に関する研究事業」

30年度 56,000千円

III 科学研究費補助金(除 特定奨励費)による研究事業

[研究分担者-採択済]

- 1 小林さやか 基盤(C)基金 北海道大学助教 加藤克 28、29、30年度
「明治期国立博物館所蔵鳥類学標本群成立過程の解明と標本情報の現代的意義に関する研究」
役割分担「標本情報集/データ管理」 30年度分担金 325千円
- 2 齋藤武馬 基盤(B)(一般)補助金 北海道大学大学院教授 高木昌興 28、29、30年度
「人為的環境変化によるリュウキュウコノハズクニ系統の同所化と浸透性交雑に関する研究」
役割分担「遺伝解析」 30年度分担金 0円(なし)
- 3 森本 元 基盤(B)(一般)補助金 北海道教育大学 准教授 三上 修 29、30、31、32年度
「電柱鳥類学:電柱・電線を介した都市における人と鳥との共生関係の実態解明」
役割分担「野外調査、行動解析」 30年度分担金 400千円
- 4 森本 元 基盤(C)基金 弘前大学 農学生命科学部研究員 笠原里恵 29、30、31年度
「河川の砂礫地減少の影響を受ける鳥類の渡り経路、越冬地および重要な中継地の解明」
役割分担「野外調査での追跡装置の装着」 30年度分担金 150千円

IV 民間助成金による事業

- 1 サントリー世界愛鳥基金

責任者 尾崎清明 助成金 2,000 千円

「琉球諸島のアジサシ類の保全」

2 嵐山通船 研究助成金（2018～2022 年 5 年間）

責任者 奥野卓司 助成金 500 千円／年

「鵜飼」に関する比較文化誌的研究

V 受託・請負事業（詳細別紙）

1 受託事業 計 3 件 51,000 千円

2 請負事業 計 3 件 24,000 千円

合計 6 件 75,000 千円

VI 写真展

「下村兼史生誕 115 周年・写真展」特別会計管理。

開催予定：平成 30 年（2018）9 月 @有楽町朝日ギャラリー

実行委員会事務局長 塚本洋三

予算額 9,069 千円

【収益事業】

当財団が東京都渋谷区南平台町に所有するマンション（イースタンホームズ南平台）3 室を賃貸し、その収益を一般会計に繰り入れ、公益目的事業の用に供する。家賃収入年間 14,520 千円。

公益目的事業への繰入予定額 5,400 千円